

広報つばめ

Tsubame 

2024

2

No.394



特集
いっすねー！山脇が行く。
コミュニティバスさんぽ

ナビゲーター

燕市 PR 大使 いっすねー！山脇さん



地域公共交通で、 つばめのまちを巡る。



新しい発見や 出会いを探そう。

地域公共交通には、鉄道やバス、デマンド交通、タクシー、スクールバスなどがあります。みなさんは、公共施設や病院、駅など市内の主要施設をつないで走る市営のコミュニティバス「スワロー号・やひこ号」やデマンド交通「おでかけきららん号」をご存じですか？

今号の特集は、ナビゲーターに燕市PR大使のいっすねー！山脇さんを迎え、「コミュニティバスさんぽ」をお届けします。コミュニティバスに乗りして足を運べる、まちで発見したオススメスポットを紹介。普段利用しない人を巡ってみてはいかがでしょう。地域を結ぶ公共交通で、新たな発見や出会いがあるかもしれません。

燕市内の公共交通の詳細はこちら▼



ナビゲーター

・よしもと新潟県住みます芸人
・燕市PR大使

いっすねー！山脇

みなさん、こんにちは！昨年11月に燕市PR大使に任命していただいた、よしもと新潟県住みます芸人の「いっすねー！山脇」です。上・中・下越、佐渡地方で分けられる新潟県ですが燕市の魅力は超越！僕の活動から燕市を知ってもらい「入燕者」を増やすぞ！みなさんが「燕市いっすねー！」と言えるような魅力をPRできるよう頑張ります。今回はナビゲーターとして、このまちの新しい発見や出会いを探してきたいと思います。

※デマンド交通…利用者の事前予約に応じた経路やスケジュールで運行する地域公共交通

100円で気軽に利用 バスさんぽのはじまり

燕市が運営する公共交通の運賃は、バスがそれぞれ乗車1回につき100円、きららん号は300円。誰でも気軽に利用できるのが魅力です。さあ、いよいよバスさんぽのスタートです。今回いっすねー！山脇さんが乗車するのは「スワロー号」と「やひこ号」。燕市役所から乗車して、燕・吉田・分水の各地区を巡ります。



燕市都市計画課の関春香主事（写真左）からコミュニティバスの概要を聞きました。



きららん号の 利便性が向上

おでかけきららん号は、事前予約することで、自宅や出発から目的地まで行くことができる乗合ワゴン車です。利便性向上のために電話の受付に加えて、昨年11月から、パソコンやスマートフォンで24時間受付できるウェブ予約を導入しました。



きららん号の詳細はこちら▼

アメリカ気分を味わえる、 複合商業施設に行ってみた。 Next Generation Town



スポット
01

新印西部
卸売市場



まず、昨年の7月に新設されたバス停「新印西部卸売市場」へ。このバス停の近くには、燕市の食を支える「新印青果西部卸売市場」や子どもたちが遊べる「みなみ親水公園」などがあります。

今回訪れたのは、複合商業施設の「Next Generation Town」です。この施設には、アメリカの街をイメージしたカラフルなテナ型ショップ約25店舗が出店しています。どのお店も魅力的で、飲食店やスイーツ、エステ、ネイル、フラワーショップなどバラエティ豊かなお店がずらり。写真映える撮影スポットも点在しているので、思い思いに楽しむことができます。そのほか、さまざまなイベントも実施しています。詳しくは、施設のインスタグラムをご覧ください。



◀プロ格闘家・ちびさいKYOKAさんオススメのプロテインドリンクが楽しめるお店に伺いました。



入口から海外の
雰囲気っすねー！

燕駅から商店街をさんぽ
心温まる新スポット

燕地区の商店街にオープン
フードバンクつばめの
拠点施設を発見しました。

次に、燕駅で「スワロー号」を下車。駅から歩いて約7分のところにある、燕地区の商店街を散策します。

いっすねー！山脇さんが発見したのは、「TSUBAME BASE」と「宮町食堂」。これらの施設は、昨年11月に

オープンした「特定非営利活動法人フードバンクつばめ」が運営する複合型支援施設です。

早速、施設に立ち寄り、理事の青柳修次さん（写真①右）、理事の玉橋尚和さん（写真①左）に話を伺いました。



「TSUBAME BASE」と「宮町食堂」はそれぞれ、商店街の空き物件を改修した施設で、フードバンクつばめの活動拠点になっています。

「TSUBAME BASE」は、駄菓子屋や漫画、卓球台、休憩スペースなどが設置されていて、子どもたちの秘密基地のような雰囲気です。そのほかにも、ボランティアによる学習支援や学用品などを無償で提供する「就学支援事業」、「学用品リサイクル事業」、無人で24時間いつでも食料品や日用品を受け取ることができる「新潟コミュニティフリッジ」、古着や雑貨などを物々交換できる

TSUBAME BASE
宮町食堂



←フードバンクつばめの活動内容について詳細はこちら

「ZUPPEつばめ」などの機能が設けられています。「宮町食堂」は普段どなたでも利用でき、美味しい料理を楽しめます。毎週日曜日には、子どもが無料で利用できる「子ども食堂」を開設しています。今後は施設内に、保育士や保健師の経験者が子育ての相談に応える「子育て相談室」を予定しています。なお、宮町食堂の利益は子ども食堂の運営に使われています。



① Tsubame Base の外観
② 宮町食堂の入口
③ 宮町食堂の内観
④ Tsubame Base の小上がりスペース
⑤ インタビューをするいっすねー！山脇さん



←各施設の内観はこちらの動画からご覧ください。



子どもたちが安心して過ごせる居場所

特定非営利活動法人フードバンクつばめは2021年に設立。経済的に困窮する家庭の子どもをはじめ、市内で暮らす全ての子どもたちの未来を応援するさまざまな取り組みを行ってきました。この拠点施設も取り組みの一つとして、子どもたちが学校や家庭以外で安心して過ごせる「居場所づくり」を目的にオープン。学校や駅から近い商店街にあるため、地域住民の目が届き、子どもが一人で安全に帰ることが出来ます。学校帰

りや休日は、多くの子どもたちが利用しています。子どもたちの居場所づくりを円滑に運営していくためには、余っている食材（フードロス）や日用品などを日常的に提供していただくなど、個人や地域、企業などがお互いに協力し合いながら子どもたちを応援していくことが大切

です。

「困った時はお互いさま」の気持ちで助け合う。誰もが気軽に利用できる心温まるスポットがそこにはありました。

いっすねー！山脇の
オススメスポットを
紹介します。



ビジョンよしだで
毎日健康生活



スポット
03

ビジョン
よしだ

間もなくリニューアルオープンから1周年を迎える吉田トレーニングセンター「ビジョンよしだ」。やひこ号のバス停が入口のすぐ前にあります。トレーニングルームやこども水泳教室など、幅広い世代の人たちが利用している施設です。毎日健康生活をはじめよう！



食・遊・癒を
楽しむ道の駅



スポット
04

道の駅
国上

「自然と遊ぶ、道の駅」がコンセプトの道の駅SORAIRO 国上。スワロー号・やひこ号の両バス停があります。手ぶらBBQやデイキャンプの施設も備えた「STAY INN」タイプの新しい道の駅です。いっすねー！山脇さんの活動拠点でもあります。



県央基幹病院 前の新しいバス停へ

続いていっすねー！山脇さんが訪れたのは、済生会新潟県央基幹病院。この場所には3月1日(金)の開院に合わせて、「スワロー号・コミュニティバス実証運行」の新しい停留所と東エリアの「おでか

けきららん号」の乗降場所として『済生会新潟県央基幹病院』が新設されます。ルートの変更に伴い、各循環バスの発着時刻などの運行内容も一部見直しを図ります。いずれも3月1日(金)の運

行から変更となるので、利用する人は発着場所や運行時間に注意してください。なお、変更後の時刻表は、7・8ページに、済生会新潟県央基幹病院の概要は12・13ページにそれぞれ掲載しています。

スポット
05
済生会
新潟県央
基幹病院



バス路線を検索（経路検索サイトで市が運行するバス路線が検索できます）▶



いっすねー！山脇のふりかえり まちを知る冒険でした。

コミュニティバスさんぽは、発見の連続でした。フードバンクつばめの拠点施設では、地元の温かい人たちの活動に触れました。「Next Generation Town」やビジョンよしだ、道の駅SORAROKU国上は、多くの市民や観光客が集い、活気にあふれていました。この発見と新しい出会いは、冒険をしているような感覚でまちのことをもっと深く知りたいと思うきっかけになりました。また、地域の魅力に触れ、コミュニティの結びつきを感じました。「燕市いっすねー！」と改めて感じる素晴らしい一日でした。最後に、「宮町食堂」の名物鶏天丼はとておいしかったです。

